

<p>① 提案（テーマ）</p> <p style="text-align: center;">2017</p> <p style="text-align: center;">地域活動への参加～</p> <p style="text-align: center;">そして、日本で自分たちの将来を…</p>	<p>② 学校・グループ名</p> <p style="text-align: center;">松阪市立久保中学校 国際部</p> <p>③ 名前</p>
<p>④ 提案の理由</p> <p>外国にルーツのある生徒が三重県にはたくさんいます。外国人生徒がたくさん在籍する久保中学校国際部の昨年度までの活動を受け継いだ今年の活動を紹介したいと思います。日本に来て寂しい思いをしたけど、いろいろな人との出会いによって日本での生活が変わってきたことなどを発信し、そして、自分たちの日本での将来についてを考える…そんな活動をもっともっと広げていきたい。</p>	
<p>⑤ 取組内容（昨年までの活動を継続しながら 発展させてきた活動）</p> <p>1. 国際部について</p> <p>①地域のイベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 松阪農業公園「ベルファーム」で行われた「やたいむら」のステージにダンスで参加しました。 ・8月 松阪市文化財センターの「まが玉フェア」に参加し、まが玉のネックレスと埴輪ストラップを作りました。松阪市の「ぼくとわたしのフォトストーリー作り」に参加しました。 <p>②全国・校区・地域の交流会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に、久保中校区(保育園・幼稚園・小学校・中学校)「世界の子どもたち交流会」に参加し、自分たちにルーツのあるフィリピン・ブラジル・日本の伝統的な遊びを通じての交流をしました。8月には、松阪地区(小学校・中学校)「世界の子ども交流会」に参加し、ゲームをしながらひとりひとりが日本語で自己紹介をしました。そのあとフィリピン・ブラジルなどの料理をみんなで楽しみました。 ・毎月土曜授業のある午後、「LAPIT」(松阪地区の中高生交流会)に参加しています。日本に来日したての生徒から日本の生活が長くなってきた生徒もいるので、日本に来た時に困ったことや嬉しかったこと、また、学校生活や自分たちの将来について話し合います。日本の高校進学に向けての準備や不安について、高校生や大学を卒業し日本で働いている先輩のアドバイスをもらったり、将来日本で働くことについてなど、話し合っています。 ・「LAPIT」の活動をさらに他の地域にむけてと、代表メンバー6人が8月に、鈴鹿で行われた「多文化共生ネットワーク交流会」に参加しました。 <p>③国際クラブの日々の活動</p> <p>毎日放課後、まずは日本語学習や宿題をしています。学習の後には、ギターやリコーダー、ダンスの練習やゲームをしたり、日本語でのコミュニケーションをとる時間となっています。各交流会やイベントに向けての練習もします。</p> <p>④アイデンティティの確立</p> <p>自分たちの国の文化や言語も大事にします。母語スタッフも一緒に、母語でゆっくり話の出来る場にもなっています。日本と母国と両方ルーツがあることを、誇りに思えるよう両方の国についても考えます。</p>	
<p>⑥ 取組の成果（期待される効果）</p> <p>日本に来て寂しい思いをした…という生徒も三重県には多いはずですが。交流会などのいろんな活動を通じて国・年齢・来日時期などが違ういろいろな人たちと出会って、日本での生活の中での悩みや喜びを交流する中で、“自分だけ”とか“ひとりぼっちじゃない”という気持ちをわかり合うこと。困ったことを、困ったこととして終わらせるのではなく、じゃあ、どうすればいいかに変える。</p> <p>そして、自分たちの将来について考え、そのために今、何をすべきか…今できることを提案・発信していくことで、外国人生徒もですが、一緒に学校生活をする日本人の友だちや先生たち、地域の人達にも活動や思いを広げていければと思う。</p>	

『地域活動への参加～そして、日本で自分たちの将来を…』

三重県松阪市立 久保中学校 国際部

1. 久保中学校のようす

久保中学校には、現在 80人を超える 外国に ルーツのある 生徒が います。そのうちの 日本語指導を 必要とする 生徒として、日本語初期指導教室「いっぽ」に通う 生徒数名と 中学校に 途中入学の 生徒が 約10名と、小学校の中学年～高学年に初来日した生徒たち 約30名…合わせて 約40名の 外国人生徒 が国際教室で 勉強しています。

国際部は、2010年度に、「アイデンティティの 確立」「教科学習の 補充学習」「日本語での コミュニケーション」を 目的に、自分たちが 日本で 生活していく、将来を 考える クラブとして 生まれました。出来たときから、外国籍の 生徒だけに 限らず、日本人の 生徒も 入っています。交流会などには、担任の先生や保護者、友だちにも 呼びかけて、一緒に 参加しています。

2. 国際部の活動

① 校内人権サークル「ELHの会」との交流、地域の子ども交流会(保幼小中)への参加

6月に校区の「世界の子どもたち交流会」へ参加しました。それに向けて「ELHの会」のメンバーと一緒に、フィリピン・ブラジル・ペルー・中国の 遊びや、けん玉や お手玉、折り紙など 日本の 昔の遊びを しました。交流会 当日は、地域の子どもの中心となって 頑張りました。8月には、松阪市の 小中学校の「世界の子ども交流会」へ参加しました。80名を 越える 子どもの中心となって 司を担当し、いくつかの ゲームを したり、世界の 料理(フィリピン・ブラジルなど)を 楽しみました。

② L^ラA^ピP^{ット}I^{ット}T (松阪地区の外国にルーツのある 中高生を 中心とした 有志の会)への参加

LAPITとは、タガログ語で“みんな来て!” “集まり”という意味です。

- L… Let's Learn and be friends. 勉強して友だちになろう。
- A… Association of Foreign Students 外国にルーツのある生徒の集まり
- P… Paz, Equality and Karapatang pantao 平和、平等、人権
- I… International Gathering Group 国際的な集まり
- T… Truepang Mixed 本当の仲間になる

毎月1回 土曜授業のある 午後、松阪市内の 中学校出身の 高校生がリーダーとなり、市内の 中学生が参加しています。日本での生活や 学校生活についての 話し合いや、将来の 仕事について 考えたり(+キャリアガイドの DVD)、履歴書の 書き方・住民票の申請の仕方、就職や 受験に向けての 面接・作文練習などを します。また、地域の交流会をもとに 8月には、鈴鹿の 多文化共生 ネットワーク交流会に参加 しました。昨年までは「全国在日外国人生徒交流会」へも参加していました。そこでも 日本での生活・学校生活や 将来の夢について、語り合いました。

③ 地域のイベント「やたいむら」「松阪市文化財センターの まが玉フェア」「ぼくとわたしのフォトストーリーづくり」「団地の文化祭」への参加…や、文化祭でのステージ発表

7月末に 松阪市の ベルファームで 行われた「やたいむら」では、自分たちの 得意な 歌やダンスの 発表をしました。(5月にあった 3年生 の職業体験で お世話になった)松阪市 文化財センターで 8月に 行われた「まが玉フェア」では、まが玉づくりと、埴輪ストラップ 作りに 参加しました。11月の 久保中学校の 文化祭では、国際部の 活動について、日本語と タガログ語との 2ヶ国語で紹介し(※国際クラブの 紹介フォトストーリーも 作成予定)、歌のステージの発表も 予定しています。

④ 学習時間(授業の復習・宿題・漢字練習・英語検定、日本語能力試験に向けて…など)

⑤ アイデンティティ確立のための母語と日本語のコミュニケーション/各イベントや 交流会に向けての日本語の練習

3. 活動の中で得ること、そして取り組んでいくこと

交流会などの いろんな活動を通じて、国・年齢・来日時期などが 違う いろいろな 人たちと 出会って、日本での生活の中での 悩みや 喜びを 交流する中で、“自分だけ”とか“ひとりぼっちじゃない”という気持ちを わかり合うこと。困ったことを、困ったこととして 終わらせるのではなく、じゃあ、どうすればいいかに 変える。そして、今 私が 出来ることは 何か…そして、私たちが 誰かの ために どんなことを 出来るのか…につなげていきたい。